

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

# シラバス

2022年度版



**鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組**

学校法人 赤門宏志学院

**赤門鍼灸柔整専門学校**

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	月曜日 9:10～

**【授業概要・目標】**  
指圧の基本手技を実技・理論共に理解し、実践できる。  
全身各部位を指圧できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、基本手技①、 施術上の注意、身体を診る①
2	あま指の意義・沿革・相違点 基本手技②、身体を診る②
3	基本手技③、運動操作、 身体を診る③
4	肩背部 坐位①～⑤
5	肩背部 伏臥位①～③
6	下肢部 伏臥位①～⑦
7	下肢部 伏臥位⑧～⑩
8	下肢部 仰臥位①～⑦
9	下肢部 仰臥位⑧～⑪
10	頭部 坐位・伏臥位・仰臥位
11	頸部 坐位・伏臥位
12	前期総復習
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、前期復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	上肢部 仰臥位①～⑥
2	上肢部 仰臥位⑦～⑪
3	顔面部・胸部
4	腹部
5	肩背部 側臥位①～③ 頸部 側臥位①～④
6	肩背部・頸部 復習
7	頭頸部 復習
8	総復習～全身施術
9	総復習～全身施術
10	問診～施術・運動操作～確認
11	問診～施術・運動操作～確認
12	問診～施術・運動操作～確認
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、指圧実技応用

<b>評価方法</b>	実技試験、筆記試験
<b>授業の進め方</b>	学生自身が反復して行うことが重要なので、学生主体で進めていく。 はじめはテキストなどを用いて筋肉や骨の確認もしていく。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1)実技は授業時間だけではうまくなりません。日々の練習が必須。 (2)白衣はきちんと着用し、清潔な環境づくりに努めること。
<b>テキスト・参考書</b>	プリント、あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、あん摩マッサージ指圧理論 解剖関係のテキストやアプリの準備(各自使いやすいもので可)

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	浦山 きか	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	中国語	<b>曜日・時間</b>	A組) 月曜日 10:50~ B組) 月曜日 9:10~

<b>【授業概要・目標】</b>	
1) 中国語の発音ができるようになる。	
2) 中国語の文法構造を理解する。	
3) 医療用語の日中差を理解し、使いこなすことができる。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	中国語の概説と発音基礎
2	韻母の構造と発音と単語
3	声母の構造と発音と単語
4	2文字以上の発音とあいさつ
5	テキスト第4課(単語と本文)
6	同上(文法と練習問題)
7	テキスト第5課
8	同上(文法と練習問題)
9	テキスト第6課
10	同上(文法と練習問題)
11	テキスト第7課
12	同上(文法と練習問題)
13	前期の文法のまとめ
14	発音試験のまとめと試験
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	テキスト第8課
2	同上(文法と練習問題)
3	テキスト第9課
4	同上(文法と練習問題)
5	テキスト第10課
6	同上(文法と練習問題)
7	文章の読み方の実際
8	テキスト第11課
9	同上(文法と練習問題)
10	テキスト第12課
11	同上(文法と練習問題)
12	テキスト第13課
13	同上(文法と練習問題)
14	後期のまとめと発音試験
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	ペーパー試験が6割、発音試験が4割。
<b>授業の進め方</b>	原則としてテキストにそってすすむが、発音については独自の資料を用いることもある。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習復習を怠らないこと。
<b>テキスト・参考書</b>	『メディカル基礎中国語』劉建著、白帝社。

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年B組
<b>科目名</b>	鍼灸基礎実技	<b>曜日・時間</b>	月曜日 10:50～

<b>【授業概要・目標】</b> (1) はりきゅうの基礎知識の習得。 (2) 安全な刺鍼・施灸ができるようになる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	鍼の基本実技(1)
3	灸の基本実技(1)
4	鍼の基本実技(2)
5	灸の基本実技(2)
6	鍼の基本実技(3)
7	灸の基本実技(3)
8	鍼の基本実技(4)
9	灸の基本実技(4)
10	前期 中間実技試験
11	鍼の基本実技(5)
12	灸の基本実技(5)
13	前期実技試験 (はり試験)
14	前期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期 実技内容確認
2	鍼の基本実技(7)
3	灸の基本実技(7)
4	鍼の基本実技(8)
5	灸の基本実技(8)
6	鍼の基本実技(9)
7	灸の基本実技(9)
8	鍼の基本実技(10)
9	灸の基本実技(10)
10	後期 中間試験
11	鍼の基本実技(11)
12	灸の基本実技(11)
13	後期実技試験 (はり試験)
14	後期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	実技試験(70%)、筆記小テスト(10%)、施灸練習課題(10%)、中間実技試験(10%)で評価。
<b>授業の進め方</b>	講義30分⇒実技60分のペースで授業をしていく。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1) ゆっくりでよいので、毎日コツコツと練習をすること。 (2) あいさつ・言葉遣い・身なり・道具の準備掃除をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト:『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
科目名	臨床実習 I	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(後期)

**【授業概要・目標】**

①患者への接遇ができる。 ②基本的な施術準備ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 9:10～

**【授業概要・目標】**  
 人体の白地図に解剖学的構造を描き、名称を書くことができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、運動器系総論
2	骨格系総論
3	上肢の骨格Ⅰ
4	上肢の骨格Ⅱ
5	下肢の骨格Ⅰ
6	下肢の骨格Ⅱ
7	体幹の骨格Ⅰ
8	体幹の骨格Ⅱ
9	体幹の骨格Ⅲ
10	関節学Ⅰ
11	関節学Ⅱ
12	関節学Ⅲ
13	前期まとめ
14	試験対策
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	体表解剖Ⅰ
2	体表解剖Ⅱ
3	神経系Ⅰ
4	神経系Ⅱ
5	神経系Ⅲ
6	脈管系Ⅰ
7	脈管系Ⅱ
8	脈管系Ⅲ
9	局所解剖Ⅰ
10	局所解剖Ⅱ
11	局所解剖Ⅲ
12	局所解剖Ⅳ
13	後期まとめ
14	試験対策
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	毎回行う小テストの結果および定期試験で評価する。
<b>授業の進め方</b>	スライドと板書で行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	暗記項目が多いため、自己学習が基本となります。毎回の小テストの項目を覚えてくる事。
<b>テキスト・参考書</b>	「解剖学 第2版」(医歯薬出版株式会社)

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	川嶋 睦子	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 10:50～

### 【授業概要・目標】

前期は東洋医学の基礎概念となる陰陽五行学説、生体物質について学ぶ。  
後期は各蔵象の生理・病理を学び、2学年で学ぶ病証への足掛かりを作る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	人体の見方、東洋医学的治療 (p13-28)
3	日本の東洋医学の現状(p29-36)
4	陰陽学説(p181-187)
5	五行学説(p188-200)
6	五行学説(p188-200)
7	中間試験(五行色体表・陰陽分類)
8	生体物質<精の生理・病理> (p37-42)
9	生体物質<気の生理> (p42-46)
10	生体物質<気の病理>(p46-50)
11	生体物質<血の生理・病理> (p50-53)
12	生体物質<津液の生理・病理> (p54-58)
13	生体物質の相互関係(p58-62)
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神の概念・生理・病理(p62-68)
2	人体による陰陽 (p68-73)
3	蔵象学説、肝系統 (p74-87)
4	肝系統<生理・病理> (p77-87)
5	心系統<生理・病理> (p87-97)
6	心系統<生理・病理> (p87-97)
7	脾系統<生理・病理> (p97-106)
8	脾系統<生理・病理> (p97-106)
9	肺系統<生理・病理> (p106-115)
10	肺系統<生理・病理> (p106-115)
11	腎系統<生理・病理> (p115-125)
12	腎系統<生理・病理> (p115-125)
13	三焦(p125-127)
14	前期・後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の結果を元に評価する。(前期は中間試験も含む)
<b>授業の進め方</b>	教科書を元に進め、適宜プリント配布や課題を出して理解を深める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	東洋医学独特の概念を最初から理解することは非常に難しいため、世界観に慣れる為にも教科書の習熟に努めてほしい。
<b>テキスト・参考書</b>	『新版 東洋医学概論』 医道の日本社

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	佐々木 和代	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**  
 経絡・経穴の基礎および十四経脈の流注・種類・機能、その経穴の名称・部位、骨度等を総合的に学習する。経穴361穴暗唱。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション(授業・試験について)、経絡経穴の基礎
2	"
3	流注と経穴名(肺経・大腸経)
4	流注と経穴名(胃経・脾経)
5	流注と経穴名(心経・小腸経)
6	流注と経穴名(膀胱経)
7	流注と経穴名(腎経・心包経)
8	流注と経穴名(三焦経・胆経)
9	流注と経穴名(肝経・督脈・任脈)
10	奇経八脈とその流注
11	骨度法
12	"
13	復習
14	前期試験の注意事項
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期授業の進め方 背部の経穴名と取穴部位(筋枝)
2	胸部の経穴名と取穴部位(筋枝)
3	上腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
4	下腹部の経穴名と取穴部位(筋枝)
5	肩部・頸部・上腕の経穴名と取穴部位(筋枝)
6	前腕部・手部の経穴名と取穴部位(筋枝)
7	中間テスト
8	復習1
9	下腿部の経穴名と取穴部位(筋枝)
10	大腿部・足部の経穴名と取穴部位(筋枝)
11	顔面部の経穴名と取穴部位(筋枝)
12	頭部の経穴名と取穴部位(筋枝)
13	復習2
14	後期試験の注意事項
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席および試験(定期試験・確認小テスト・経穴暗唱)の結果を総合的に評価する。
<b>授業の進め方</b>	教科書『経絡・経穴概論』を基本に、PowerPoint、板書、資料配布等により授業を進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	毎回経穴小テスト(経穴暗唱を含む)を行う。経穴は前期中に361穴覚える。
<b>テキスト・参考書</b>	『経絡・経穴概論』医道の日本社



# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	三保 翔平 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	水曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**  
東洋医学の歴史、中医学以外の東洋医学の知識の理解。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	アーユルヴェーダとは、ドーシャ・五大元素とは、ヴァータ体質について
2	ピッタ体質、カパ体質について
3	生理的ドーシャの動き、病的ドーシャの動き
4	各ドーシャの過剰、病の派生
5	心の属性について、ヴァータ体質による浄性の優劣
6	ピッタ体質の浄性の優劣、カパ体質の浄性の優劣、カースト・グナ・ドーシャの関係
7	カースト制にみる適職判断、本当のカースト制の意義
8	複合体質に関する浄性の優劣
9	診断・施術の流れ(概要、ヴァータ疾患)
10	診断・施術の流れ(ピッタ・カパ疾患)
11	治療に求められる人格(良い医者、悪い医者、患者の資質)
12	アーユルヴェーダの施術点「マルマ」について、武術と医術の関連性
13	前期復習・質疑応答
14	前期復習・質疑応答
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	東洋医学の起源、陰陽五行について①
2	東洋医学の起源、陰陽五行について②
3	中医学治療の概要、地域別の治療、九鍼
4	灸法、手技、湯液
5	医療人の心得、治未病、養生、治療原則
6	中医学の歴史と医書①
7	中医学の歴史と医書②
8	日本の東洋医学の歴史①
9	日本の東洋医学の歴史②
10	日本の東洋医学の現状①
11	日本の東洋医学の現状②
12	柔道整復師の歴史と変遷①
13	柔道整復師の歴史と変遷②
14	後期復習・質疑応答
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の点数
<b>授業の進め方</b>	パワーポイントのスライド、板書、配布資料
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	板書の記録
<b>テキスト・参考書</b>	配布資料、『新版 東洋医学概論』

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	笹野 泰之	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	水曜日 9:10～

**【授業概要・目標】**

筋系、神経系および感覚器系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	筋系総論
2	頭部の筋
3	頸部の筋
4	胸部の筋
5	腹部の筋・会陰筋
6	背筋
7	上肢の筋(1)
8	上肢の筋(2)
9	上肢の筋(3)
10	下肢の筋(1)
11	下肢の筋(2)
12	下肢の筋(3)
13	下肢の筋(4)
14	
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論・脊髄
2	延髄・橋・中脳
3	小脳・間脳・大脳(1)
4	大脳(2)・脳室系等
5	脊髄神経総論
6	頸神経叢・腕神経叢
7	肋間神経・腰神経叢
8	仙骨神経叢(1)
9	仙骨神経叢(2)・脳神経総論
10	脳神経各論(1)
11	脳神経各論(2)
12	脳神経各論(3)・自律神経系
13	伝導路・感覚器系
14	
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験自己評価点検授業

<b>評価方法</b>	出席と試験の成績による。
<b>授業の進め方</b>	教科書の内容に沿って進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	十分に復習すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 第2版、社団法人 東洋療法学校協会編、医歯薬出版

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	煙山 貴之	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	衛生学・公衆衛生学	<b>曜日・時間</b>	水曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**

人間の生存に影響を及ぼすさまざまな関連要因をふまえ、健康の保持・増進について学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	衛生学・公衆衛生学の意義
3	健康の概要
4	健康管理、健康増進
5	医療制度と医療保障
6	食品の意義と食生活
7	食品と疾病
8	食中毒-1
9	食中毒-2
10	環境
11	環境要因-1
12	環境要因-2
13	環境問題-1
14	環境問題-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	産業保健
2	精神保健
3	保健統計-1
4	保健統計-2
5	母子保健
6	学校保健
7	成人・高齢者保健
8	生活習慣病
9	感染症-1
10	感染症-2
11	感染症-3
12	消毒法-1
13	消毒法-2
14	疫学
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験
<b>授業の進め方</b>	講義形式であるが、対話的に行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	統計などは毎年新しくなることに注意する。
<b>テキスト・参考書</b>	衛生学・公衆衛生学

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
<b>科目名</b>	鍼灸基礎実技	<b>曜日・時間</b>	水曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> (1) はりきゅうの基礎知識の習得。 (2) 安全な刺鍼・施灸ができるようになる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	鍼の基本実技(1)
3	灸の基本実技(1)
4	鍼の基本実技(2)
5	灸の基本実技(2)
6	鍼の基本実技(3)
7	灸の基本実技(3)
8	鍼の基本実技(4)
9	灸の基本実技(4)
10	前期 中間実技試験
11	鍼の基本実技(5)
12	灸の基本実技(5)
13	前期実技試験 (はり試験)
14	前期実技試験 (きゅう試験)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期 実技内容確認
2	鍼の基本実技(7)
3	灸の基本実技(7)
4	鍼の基本実技(8)
5	灸の基本実技(8)
6	鍼の基本実技(9)
7	灸の基本実技(9)
8	鍼の基本実技(10)
9	灸の基本実技(10)
10	後期 中間試験
11	鍼の基本実技(11)
12	灸の基本実技(11)
13	後期実技試験 (はり試験)
14	後期実技試験 (きゅう試験)
15	評価・点検

<b>評価方法</b>	実技試験(70%)、筆記小テスト(10%)、施灸練習課題(10%)、中間実技試験(10%)で評価。
<b>授業の進め方</b>	講義30分⇒実技60分のペースで授業をしていく。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1) ゆっくりでよいので、毎日コツコツと練習をすること。 (2) あいさつ・言葉遣い・身なり・道具の準備掃除をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト:『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 務	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	水曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> マッサージの基本手技、各部位施術の基本を習得する。また、手技に伴う理論を理解する。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 施術時の注意点
2	マッサージの意義と沿革・あま指の相違点、作用など
3	基本手技：軽擦法
4	基本手技：揉捏法①
5	基本手技：揉捏法②
6	基本手技：強擦法 圧迫法①
7	基本手技：圧迫法②
8	基本手技：振せん法 叩打法①
9	基本手技：叩打法②
10	基本手技：叩打法③
11	手部の施術
12	前腕部の施術
13	実技試験①
14	実技試験②
15	上腕部の施術

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	足部の施術
2	下腿部の施術
3	大腿部の施術 殿部の施術
4	背腰部の施術
5	頸部の施術
6	頭部の施術
7	胸部の施術
8	腹部の施術①
9	腹部の施術②
10	顔面部の施術
11	復習
12	実技試験①
13	実技試験②
14	全身施術①
15	全身施術②

<b>評価方法</b>	出席(授業態度含む)・実技試験・筆記試験などの総合評価
<b>授業の進め方</b>	マッサージの実技をしながら、これに伴う理論を理解できるようにする。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業で積極的に取り組むのはもちろんのこと、授業外でも練習をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	「あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞」(医道の日本社)

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	武藤 永治	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	医療概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**

授業概要: 鍼灸マッサージを学ぶうえで医学・医療の歴史を知り、考えを深めていく。  
また、医療従事者に求められる倫理を考える。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	古代の医学
2	中世とルネッサンス
3	17, 18世紀の医学
4	19世紀以降の医学
5	東洋における医学・医療
6	日本における医学・医療
7	代替医学・医療
8	現代の医療と社会
9	医療従事者・医療機関
10	国および地方の医療行政
11	医療保険制度
12	医療倫理
13	理療と倫理
14	医療者患者関係の形成
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<b>評価方法</b>	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
<b>授業の進め方</b>	テキストを基にプレゼンテーションで補足説明する形式で講義する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	医療に関わるニュースにアンテナを張っていて欲しい。
<b>テキスト・参考書</b>	『医療概論』(公社)東洋療法学校協会編

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	生理学 I	<b>曜日・時間</b>	木曜日 9:10～

**【授業概要・目標】**  
 人体の生理機能について学習し、その意義と調節機構を理解する。  
 生理学の基本知識を習得し、他の教科や2年次以降の学習の基礎を固めることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 第1章:生理学の基礎1
2	第1章:生理学の基礎2
3	第1章:生理学の基礎3
4	第2章:循環1
5	第2章:循環2
6	第2章:循環3
7	第2章:循環4
8	第2章:循環5
9	第2章:循環6
10	第2章:循環7
11	第3章:呼吸1
12	第3章:呼吸2
13	第3章:呼吸3
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4章:消化と吸収1
2	第4章:消化と吸収2
3	第4章:消化と吸収3
4	第4章:消化と吸収4
5	第4章:消化と吸収5
6	第5章:代謝1
7	第5章:代謝2
8	第5章:代謝3
9	第6章:体温1
10	第6章:体温2
11	第7章:排泄1
12	第7章:排泄2
13	第7章:排泄3
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の結果を元に行う。
<b>授業の進め方</b>	教科書を元に、適宜板書・プリント配布を行いながら授業を進める。 また、一部課題を出して理解を深める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習・復習を行い、授業外でも理解を深めるよう努力してほしい。
<b>テキスト・参考書</b>	「生理学 第3版」医歯薬出版株式会社

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	金田一 孝二	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	解剖学 I	<b>曜日・時間</b>	木曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 正常な人体の形態と構造を理解する。特に、細胞と組織、内臓系について学習する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	人体の構成：人体の区分と方向 解剖学の意義・分類・用語
2	細胞の形態と内部構造
3	細胞分裂： 細胞周期・染色体・減数分裂
4	遺伝子： 核酸・遺伝情報・情報の伝達
5	上皮組織1：概説
6	上皮組織2： 細胞間結合装置・内・外分泌腺
7	結合組織1：概説
8	結合組織2：軟骨・骨組織
9	血液とリンパ
10	筋組織総論
11	神経組織総論
12	皮膚： 構造・神経・血管・毛・爪・皮膚腺
13	循環器系概説・血管の構造・ 動脈・静脈
14	心臓、刺激伝導系、心臓の血管
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	動脈系・静脈系・門脈系・胎児循環
2	リンパ系
3	呼吸器系1 鼻腔・咽頭・喉頭
4	呼吸器系2 気管・気管支・肺
5	消化器系1 口唇・口腔・舌
6	消化器系2 歯・唾液腺・咽頭・食道
7	消化器系3 胃・小腸(十二指腸)
8	消化器系4 小腸(空腸、回腸)・ 大腸・肛門
9	消化器系5 肝臓・膵臓・胆嚢
10	泌尿器系1 腎臓
11	泌尿器系2 尿管・膀胱・尿道
12	生殖器系1 男性生殖器
13	生殖器系2 女性生殖器
14	内分泌系
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験、出席状況、授業態度、小試験、課題提出の総合評価とする。
<b>授業の進め方</b>	教科書中心の講義ではあるが、教科書に記載のない事項まで言及する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	高校程度の生物学の知識は必要である。解剖学は決して暗記科目ではなく、理解することが大事である。予習復習を確実にし授業に参加すること。課題の提出期限は厳守すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 改訂第2版(医歯薬出版)、その他、随時紹介する。



## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 務	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> マッサージの基本手技、各部位施術の基本を習得する。また、手技に伴う理論を理解する。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 施術時の注意点
2	マッサージの意義と沿革・あま指の相違点、作用など
3	基本手技：軽擦法
4	基本手技：揉捏法①
5	基本手技：揉捏法②
6	基本手技：強擦法 圧迫法①
7	基本手技：圧迫法②
8	基本手技：振せん法 叩打法①
9	基本手技：叩打法②
10	基本手技：叩打法③
11	手部の施術
12	前腕部の施術
13	実技試験①
14	実技試験②
15	上腕部の施術

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	足部の施術
2	下腿部の施術
3	大腿部の施術 殿部の施術
4	背腰部の施術
5	頸部の施術
6	頭部の施術
7	胸部の施術
8	腹部の施術①
9	腹部の施術②
10	顔面部の施術
11	復習
12	実技試験①
13	実技試験②
14	全身施術①
15	全身施術②

<b>評価方法</b>	出席(授業態度含む)・実技試験・筆記試験などの総合評価
<b>授業の進め方</b>	マッサージの実技をしながら、これに伴う理論を理解できるようにする。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業で積極的に取り組むのはもちろんのこと、授業外でも練習をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	「あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞」(医道の日本社)

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**  
 指圧の基本手技を実技・理論共に理解し、実践できる。  
 全身各部位を指圧できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、基本手技①、 施術上の注意、身体を診る①
2	あま指の意義・沿革・相違点 基本手技②、身体を診る②
3	基本手技③、運動操作、 身体を診る③
4	肩背部 坐位①～⑤
5	肩背部 伏臥位①～③
6	下肢部 伏臥位①～⑦
7	下肢部 伏臥位⑧～⑩
8	下肢部 仰臥位①～⑦
9	下肢部 仰臥位⑧～⑪
10	頭部 坐位・伏臥位・仰臥位
11	頸部 坐位・伏臥位
12	前期総復習
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、前期復習

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	上肢部 仰臥位①～⑥
2	上肢部 仰臥位⑦～⑪
3	顔面部・胸部
4	腹部
5	肩背部 側臥位①～③ 頸部 側臥位①～④
6	肩背部・頸部 復習
7	頭頸部 復習
8	総復習～全身施術
9	総復習～全身施術
10	問診～施術・運動操作～確認
11	問診～施術・運動操作～確認
12	問診～施術・運動操作～確認
13	筆記試験・実技試験練習
14	実技試験
15	評価点検、指圧実技応用

<b>評価方法</b>	実技試験、筆記試験
<b>授業の進め方</b>	学生自身が反復して行うことが重要なので、学生主体で進めていく。 はじめはテキストなどを用いて筋肉や骨の確認もしていく。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1)実技は授業時間だけではうまくなりません。日々の練習が必須。 (2)白衣はきちんと着用し、清潔な環境づくりに努めること。
<b>テキスト・参考書</b>	プリント、あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、あん摩マッサージ指圧理論 解剖関係のテキストやアプリの準備(各自使いやすいもので可)

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	三保 翔平 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技 I	<b>曜日・時間</b>	木曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**

臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	按摩の基礎知識、手技の基本、腰部
2	腰部、足の経脈を意識した按摩施術
3	肩背部の施術
4	肩背部の施術
5	上肢の施術
6	上肢の施術
7	手の経脈を意識した按摩施術
8	下肢の施術
9	下肢の施術
10	姿勢や刺激量等の基本の確認
11	肩背部、上肢の施術
12	腰部、下肢の施術
13	前期試験 前半
14	前期試験 後半
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	頸部の施術
3	頭部の施術
4	経脈を意識した按摩施術
5	経脈を意識した按摩施術
6	肩こりの施術
7	腰痛の施術
8	頸肩痛の施術
9	腰下肢痛の施術
10	頭痛の施術
11	内臓疾患の施術(経脈の復習)
12	前期、後期の実技の復習
13	後期試験 前半
14	後期試験 後半
15	評価点検

<b>評価方法</b>	授業の実技の取り組む姿勢、定期試験。
<b>授業の進め方</b>	理論と実技を組み合わせる。毎回、叩打法・曲手の練習を取り入れる。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業時間外の練習。
<b>テキスト・参考書</b>	『あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞』『あん摩マッサージ指圧理論』

## 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	柏倉 利一	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅰ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**

臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩の意義 実技 手拳叩打法
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打、合掌、
3	実技 叩打、合掌、切打 曲手法
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技
6	手技の留意点 肩背の施術
7	軽擦法の生理作用 軽擦法の実技
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 軽擦法の実技
9	その他の生理作用 腰部の実技
10	肩背部、腰部の実技
11	肩背部、腰部の実技
12	上肢の施術実技
13	上肢の施術実技
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の総復習(打法、曲手)
2	肩背部、上肢、腰部の実技
3	五作用について 下肢の施術実技
4	あん摩の治療効果 下肢の施術実技
5	五作用について 下肢の施術実技
6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	禁忌症について 頸部の実技
8	頸部の実技
9	頸部の実技 施術上の注意
10	頭部の実技
11	頸部、頭部の実技
12	前期、後期の実技の復習
13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験
15	評価点検

<b>評価方法</b>	授業の実技の取り組む姿勢・課題目標明確にする
<b>授業の進め方</b>	授業は理論と実技を組み合わせる
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	課外練習を望みます
<b>テキスト・参考書</b>	『あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞』『あん摩マッサージ指圧理論』、 プリント中心に進める。

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	渡部 正司	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	生理学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	金曜日 9:10～

**【授業概要・目標】**  
 本科目は生体の機能を学ぶものであり、極めて重要で全教科に及ぶ基礎医学分野である。そのため、用語や定義等を理解する必要がある。各テーマについて個々の理解はもとより図化できるかが理解の鍵になる。理解を深めるためにスライドを示し、教科書を補足する。語句の理解に加え図式化ができることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	神経 ニューロンの構造と働き
2	神経 興奮伝導
3	神経 シナプス伝達
4	神経 中枢神経系
5	神経 反射
6	神経 脊髄・脳幹・小脳
7	神経 視床・視床下部・大脳・脳脊髄液
8	神経 末梢神経系・自律神経系
9	神経 自律神経系
10	筋 骨格筋の構造と働き・収縮
11	筋 エネルギー供給・心筋と平滑筋
12	運動 骨格筋の神経支配
13	運動 運動の調節
14	運動 錐体路系と錐体外路系・発声
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	感覚 分類と性質・体性/内臓感覚
2	感覚 痛覚
3	感覚 味覚・嗅覚・聴覚
4	感覚 平衡感覚・視覚
5	内分泌 ホルモンの特徴
6	内分泌 種類と働き
7	内分泌 種類と働き
8	内分泌 種類と働き
9	生殖・成長と老化 生殖・妊娠・出産
10	生殖・成長と老化 成長・老化
11	生体の防御機構 自然//獲得免疫
12	生体の防御機構 免疫反応
13	身体運動の協調 適応・恒常性
14	身体運動の協調 バイオリズム
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験、出席
<b>授業の進め方</b>	教科書を補足するスライドを用いて解説する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	全教科の基礎です。図化して説明ができるように理解して下さい。
<b>テキスト・参考書</b>	東洋療法学校協会編. 生理学. 第3版, 医歯薬出版, 2014 .

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	大槻 健蔵	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	自然科学概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 金曜日 10:50~

<b>【授業概要・目標】</b>	
<p>(1)日本は、自然災害大国である。近年、地球温暖化が進み異常気象により巨大台風や豪雨による大災害が多発している。被災時における身の安全と被災地住民への支援活動の協力が極めて重要であることを理解する。</p> <p>(2)生命体を構成している「細胞」の基本構造、増殖様式および生理機能を理解する。</p> <p>(3)生命体ゲノム(DNA)上の遺伝情報(遺伝子)とタンパク質(機能性因子)との関係を正確に理解する。</p> <p>(4)病原微生物(主に細菌とウイルス)によるヒト感染症の発症の仕組みを理解する。</p> <p>(5)我々がよく利用する食品添加物、農薬や化粧品などに含む主成分が生体の情報システムを攪乱させることによる免疫系の異常作用およびタバコの副流煙に含む多数の発がん物質による発がん作用を理解する。</p> <p>(6)「健康の維持」に重要な「免疫(生体防御)の仕組み」と彩色野菜類に含む物質の免疫促進作用を理解する。</p>	

<前期>	
回	授業テーマ
1	序論-1. 「自然科学概論」とはどんなことを学ぶ教科か？ 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発および蚊の生態系の変化
2	2. 我が国の自然災害(地震、台風や豪雨水害)の発災時における身の安全の確保と被災地住民への支援協力の重要性
3	3. 世界の環境汚染(大気汚染、PM2.5汚染やプラスチックゴミの海洋汚染)による健康問題および安全な飲料水の確保
4	各論-1. 生命の誕生から多様な生物種への進化および生命活動(細胞増殖、代謝と遺伝子発現)の仕組み
5	2. 生命活動に重要な機能性因子(タンパク質)の種類と生理機能
6	3. 自然界とヒト体内に生存する多様な微生物の特徴と生理的な役割
7	4. 食中毒を起こす細菌とウイルスの特徴、食材と感染ルートおよび感染予防
8	5. 性感染症の起因微生物の特徴、感染拡大の仕組みおよび感染予防
9	6. ヒトが多発する風邪の原因ウイルスの特徴と感染予防および風邪薬の効果
10	7. 新型コロナウイルスの世界的なパンデミック感染の特徴とmRNAワクチンの予防効果
11	8. タバコの副流煙に含まれる多様な発がん性物質による発がん作用
12	9. 多種多彩な食品添加物、農薬や化粧品に含まれる物質の安全性と発がん作用
13	10. 病原微生物による感染症とがん発症を防御している「免疫の仕組み」
14	11. 彩色野菜に多く含むフィトケミカル(ポリフェノール)の抗酸化作用と健康効果 12. 全授業内容の「まとめ」の資料配布(本教科の試験勉強に活用)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	13. 試験結果の評価と課題 14. 様々な薬剤の有効な薬理作用と副作用および正しい使い方

<b>評価方法</b>	筆記試験の成績、積極的な質問および出席日数により総合的に評価する。
<b>授業の進め方</b>	テーマ毎に配布資料を用いてPower pointで行い、必ず質問の時間を設けます。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業中にどんなことでも遠慮なく質問して下さい。本分野における興味ある課題や社会的な話題を早めに要望して下さい。皆さんの要望を授業で解説したく思っております。
<b>テキスト・参考書</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社(2020年3月第5刷発行)</li> <li>2)「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書</li> <li>3)「遺伝子が語る生命像」本庶 佑著 Blue Backs</li> <li>4)「ウイルス感染症がわかる本」田口文章著 成美堂出版(2005)</li> <li>5)「腸内細菌の役割」藤田純一郎著(腸内細菌に関する著書多数あり)</li> <li>6)「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社(2010)</li> <li>7)「ガンより怖い薬剤耐性菌」三瀬勝利、山内一也著 集英社(2018)</li> </ol>

# 2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	長岡 靖彦	<b>学科・年</b>	鍼灸マッサージ東洋医療科 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論Ⅱ(半期)	<b>曜日・時間</b>	後期) 金曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 要穴の概要と意義について学習し、臨床に応用できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	要穴総論: 要穴の意義、分類
2	五要穴(1)総論
3	五要穴(2)各論①: 原穴、郄穴、絡穴
4	五要穴(3)各論②: 募穴、背部俞穴
5	五俞穴と五行穴(1)総論
6	五俞穴と五行穴(2)五俞穴各論
7	五俞穴と五行穴(3)五行穴各論
8	その他の要穴(1)総論
9	その他の要穴(2)四総穴、八会穴、下合穴
10	その他の要穴(3)交会穴
11	その他の要穴(4)八脈交会穴
12	経絡経穴の現代的研究(1)
13	経絡経穴の現代的研究(2)
14	経絡経穴の現代的研究(3)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
<b>授業の進め方</b>	プレゼンテーションと板書を活用し講義形式で行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	毎日(週末を除く)ちよつとだけ時間を作って教科書p240-241の要穴表を音読すること。各授業終了後、復習問題をGoogle Classroomに掲載する活用すること。
<b>テキスト・参考書</b>	『経絡経穴概論』東洋療法学校協会編